⚠ 警告

ご使用時は



禁止

■吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。
（けがの原因）

■長時間冷風を体に直接あてない、冷やし過ぎない。
おやすみのときなど、長時間、冷風を体に直接あてたり、冷やし過ぎたりしない。（体調を崩す原因）
特にお子様や高齢者にはご注意ください。

■可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない。
（感電や引火の原因）

据付け・移設・修理時は



必ず実施

■エアコンの据付け、修理や移動、再設置は、自分でしない。
（感電や火災などの原因）
必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

■必ずエアコン専用の電源コンセントを使う。
（他の機器と併用すると、発熱による火災の原因）

■アースや漏電しゃ断器が設置されていること。
（感電の原因）

■据付けや移動、修理は必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
冷えない、暖まらない場合は、冷媒もれが原因の一つと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。
冷媒追加を伴う修理の場合は、冷媒もれがないことをサービスマンに確認してください。
（冷媒は安全で、通常はもれませんが、万一室内にもれ、ファンヒーターやコンロなどの火気に触れると、有害な生成物発生の原因）

■可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置されていないか確認する。
（万一ガスがもれると、発火の原因）

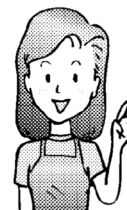
■ドレンホースが確実に排水するように配管されているか確認する。
（不確実な場合、家財などをぬらす原因）

吸込口
（アルミ部分）

吹出口

ドレンホース

漏電やけがを防ぎ、
家財などを守るために
お守りください。



⚠ 注意

お手入れ時は



禁止

■不安定な台に乗らない。
（転倒など、けがの原因）

■ユニットのアルミ部分に触らない。
（手を切る原因）

■お客様自身で、工具を使った分解掃除や、改造、内部の洗浄はしない。
（水もれや破損、故障、発煙、発火の原因）



必ず実施

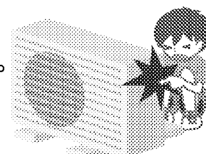
■必ず運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る。
（ファンが高速回転しているため、けがの原因）

室外ユニットは



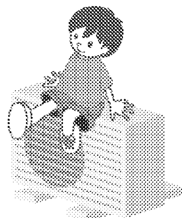
禁止

■ユニットのアルミ部分に触らない。
（手を切る原因）



■ユニットの近くに、他の電気製品や家財などを置かない。
（暖房時はドレンホースから結露水が出て、汚損や故障の原因）

■ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない。
（ベランダなどの高い場所に設置の場合、転落の原因）



■据付台が破損したまま、放置しない。
（落下につながり、けがなどの原因）

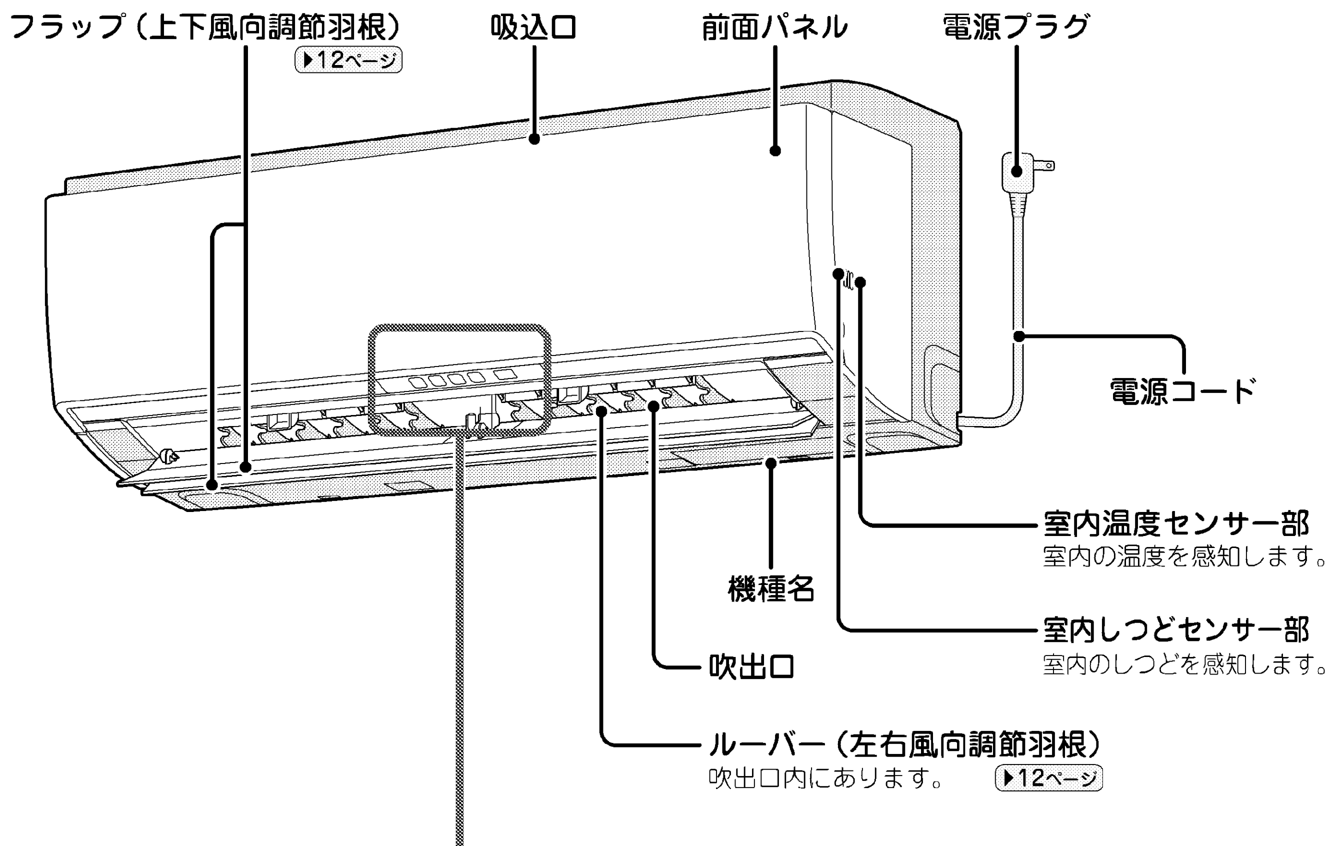


必ず実施

■ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉がたまらないようにする。
（虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因）

各部のなまえと働き

室内ユニット



本体表示部

内部クリーンランプ(緑) ▶17ページ

タイマーランプ(橙) ▶15ページ

タイマー　運転　内部クリーン　おそうじ　運転/停止

受信部

●リモコンからの信号を受ける部分です。

●信号を受けると、受信音と同時に運転ランプが点滅し受信を確認できます。

- 運転開始…ピッピッ♫
- 設定変更…ピッ♪
- 運転停止…ピー♩

運転ランプ(緑)

おそうじランプ(緑) ▶18ページ

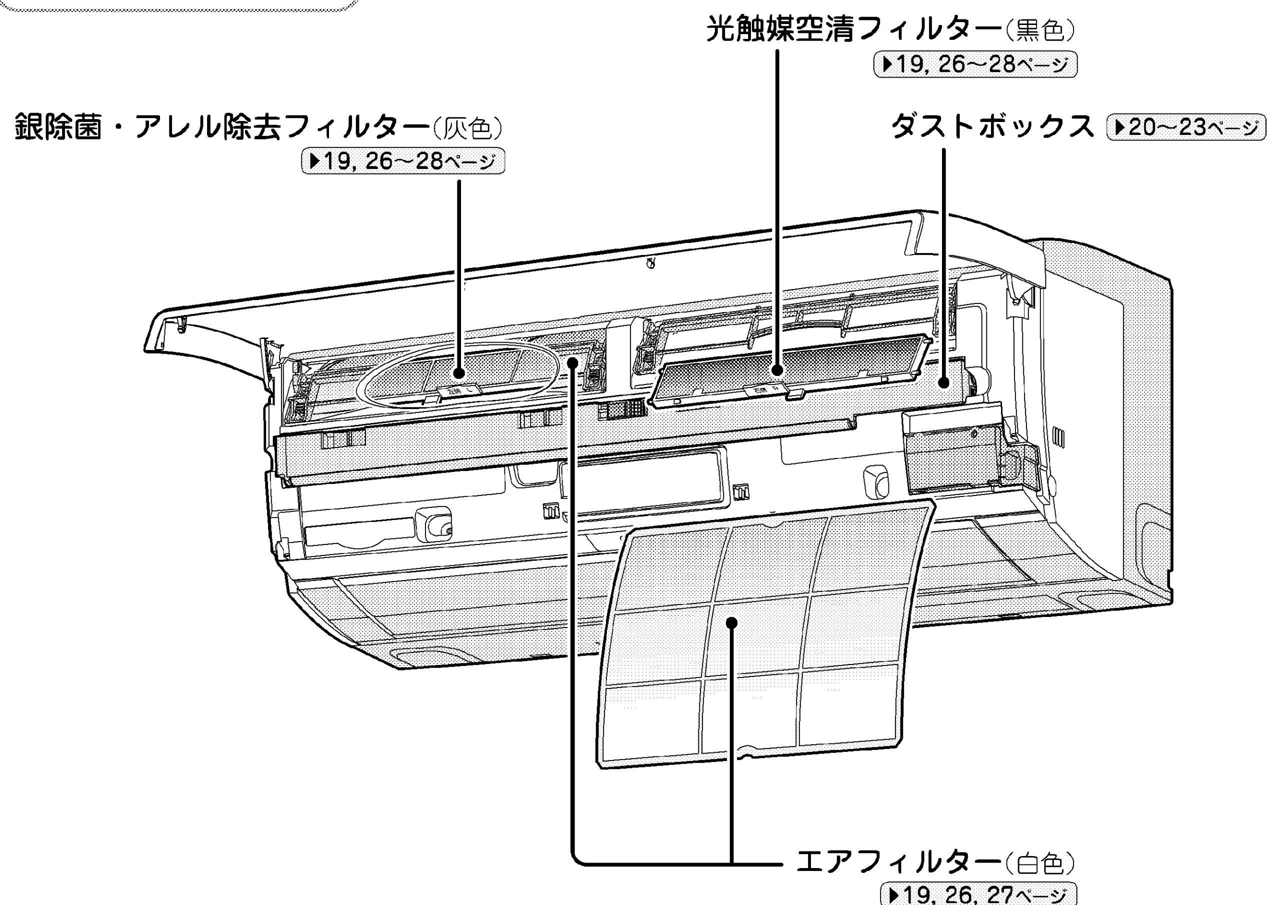
●約10年以上運転する、またはダストボックス内にホコリがたまり、ダストブラシが回らなくなったら点滅します。
フィルター自動掃除「入」で、約1日に一度のフィルター掃除運転をした場合。
おそうじランプが点滅中は、フィルター掃除運転できません。ダストボックス、ダストブラシの掃除を行って、おそうじサインリセットを行ってください。 ▶19ページ

運転／停止ボタン

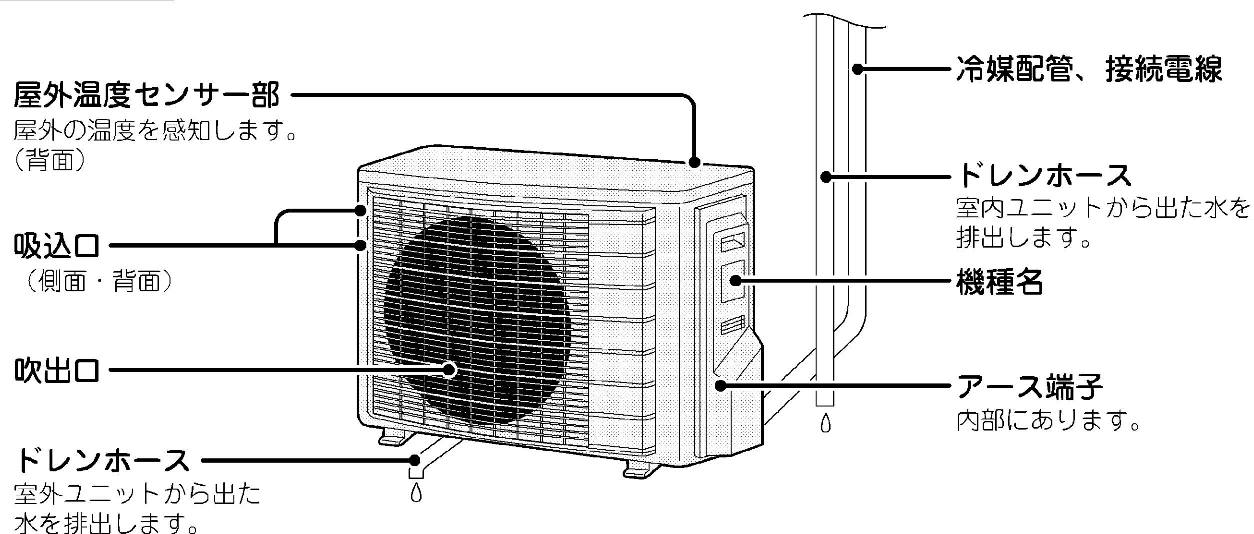
●押すと運転モードは「自動」、風量は「自動」で運転します。もう一度押すと停止します。 ▶11ページ

●リモコンがみつからないときなどにご使用ください。

前面パネルを開けたとき



室外ユニット



(イラストはAN40KCP)

各部のなまえと働き

リモコン

送信部

快眠ボタン
室内温度をコントロールして快い眠りとさわやかな目覚めをサポートします。
▶16ページ

◆操作取消は
取消を押してください。

表示部
運転状態を表示します。
（図は説明のため全部表示しています。）

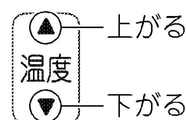
表示部の保護シートは、使用時にはがしてください。

運転切換ボタン
運転のモードを選びます。
（自動・ドライ・冷房・暖房・送風）

運転／停止ボタン
押すと運転。
もう一度押すと停止します。

風向・風量・風ないスボタン
風向・風量を調節します。
▶12, 13ページ

温度ボタン
温度を調節します。



健康冷房ボタン
屋外と室内の温度差を検知し、体にやさしい冷房運転をします。
▶14ページ

内部クリーンボタン
エアコン内部を乾燥させて、カビやニオイの発生を抑えます。
▶17ページ

◆操作取消は
もう一度 内部クリーン を２秒間押してください。

フィルター掃除ボタン
エアフィルターのホコリなどの汚れをエアコンがきれいにします。
▶18ページ

タイマーボタン
運転が停止・再開するまでの時間を設定します。
▶15ページ

◆操作取消は
取消を押してください。

おそうじサインリセットボタン
おそうじランプの点滅が消えます。
▶19ページ

運転前の準備

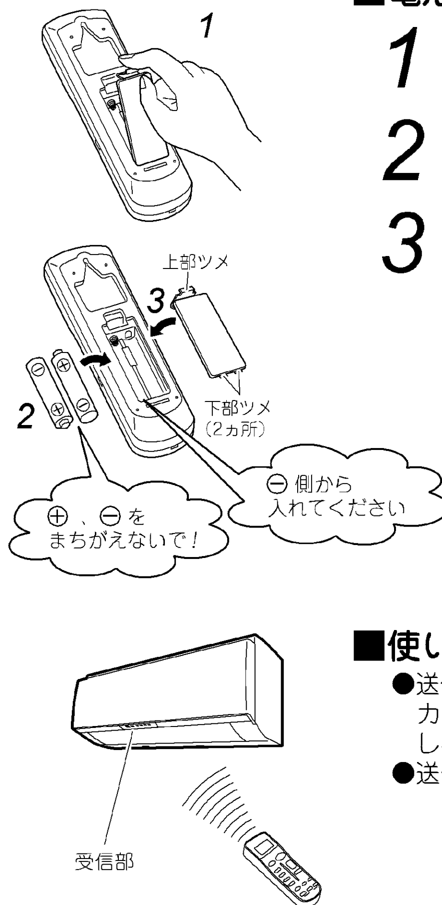
電池について

- 電池を廃棄するときは、端子をテープなどで巻き付けて絶縁してください。
  他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池は、お近くの電器店、時計店、カメラ店などにある電池回収箱に入れてください。
- 交換のめやすは約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。
- 乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。
- 液もれや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。
- 付属の乾電池は、最初にお使いいただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。

リモコンについて

- 落としたり水が入らないようにしてください。（液晶部が破損することがあります。）
- 電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）や、液晶テレビ、プラズマテレビがある部屋では、信号を受け付けにくい場合があります。このようなときには、販売店にご相談ください。
- リモコンで他の電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。

リモコン



■電池を入れる

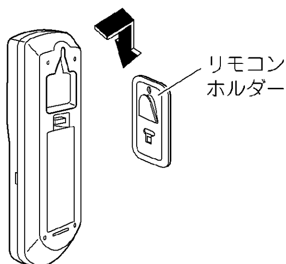
1 上部のツメを下へ引き、ふたを開ける。

2 単４形アルカリ乾電池を２本入れる。

3 ふたの下部のツメ２ヵ所を差し込んで、もとどおりにふたを閉じる。

■使いかた

- 送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
  カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。
- 送信できる距離は約７ｍです。



■壁などに取り付ける場合

1 信号が受信される場所を選ぶ。

2 リモコンホルダーを付属のネジで、壁・柱などに取り付ける。

3 リモコンの背面の穴をリモコンホルダーの凸部に引っかける。

運転前の準備

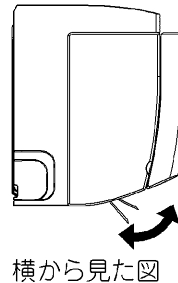
室内ユニット

■銀除菌・アレル除去フィルターと光触媒空清フィルターを取り付ける ▶26, 27ページ

■電源プラグをコンセントに差し込む

●電源プラグをコンセントに差し込むと、フラップ(上下風向調節羽根)が一度開き、また閉じます。(故障ではありません。)

●エアフィルターが位置合わせのため、動く場合があります。


横から見た図

上手な使いかたについて

●適度な室内温度設定は節電につながります。

＜おすすめ設定温度＞
冷房時…26℃～28℃
暖房時…20℃～22℃

●窓にはブラインドやカーテンを使用すると、直射日光やすきま風を防ぎ、冷房・暖房効果を高めます。

知っておいてください

●エアコンは運転しないときでも、電力を消費します。▶37ページ

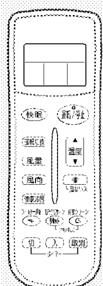
●シーズンオフなど、長期間使用しないときは電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。

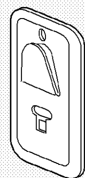
運転条件

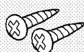
●下表の条件以外で運転を続けると、安全装置が働き、運転が停止する場合があります。また、冷房・ドライ運転の場合は室内ユニットに露が付き、滴下する場合があります。

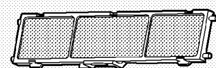
冷房	
屋外温度	21℃～43℃
室内温度	21℃～32℃
室内しつど	80%以下
暖房	
屋外温度	－10℃～24℃
室内温度	27℃以下
ドライ	
屋外温度	18℃～43℃
室内温度	18℃～32℃
室内しつど	80%以下

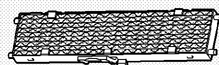
付属品

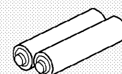

リモコン

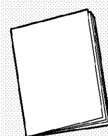

リモコンホルダー


リモコンホルダー取付ネジ(黒色・2本)


銀除菌・アレル除去フィルター(灰色)


光触媒空清フィルター(黒色)


単4乾電池(2本)


取扱説明書


保証書

運転のしかた（自動・ドライ・冷房・暖房・送風運転）

自分に合ったお好みの運転を選べます。
一度合わせると、次回からは同じ運転ができます。

自動運転について

●自動運転は、運転開始時の室内温度、屋外温度に応じて、自動で運転モード（暖房、ドライ、冷房のいずれか）、設定温度を選びます。

●屋外温度を監視しながら最適な温度になるように設定温度を見直します。お好みに合わないときは温度ボタンで微調節して頂くか、運転モードを変えてください。

暖房運転について

●屋外温度が下がり、暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。

●屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなとき、霜取り運転のため、暖房運転が停止し、風も止まります。この霜取り運転（約3～10分間）が終わると再び暖房運転を開始します。
霜取りにより溶け出した水が室外ユニットの下に流れ出したり、湯気が白い煙のように見えることがありますが、異常ではありません。

ドライ運転について

●ドライ運転は、弱めの冷房運転と停止を適切に制御して湿気を取ります。

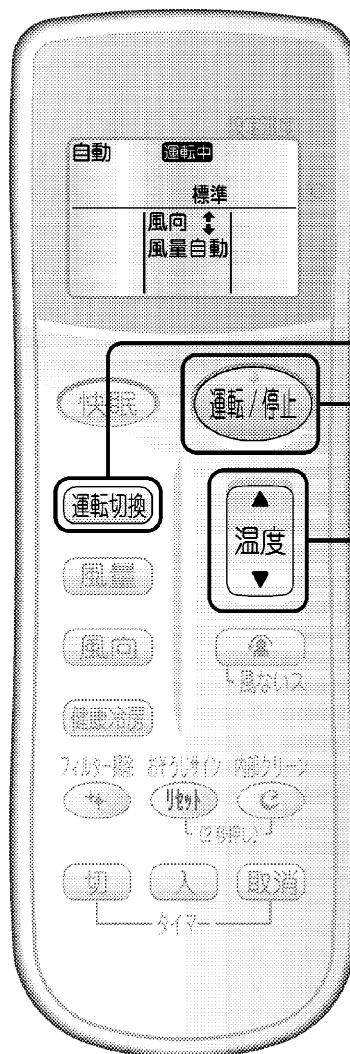
●リモコン設定と除湿効果、室内温度は次のような関係があります。お好みに合わせて調節してください。

リモコン設定	－2・標準・＋2
除湿効果	高　い ←→ 低　い
室内温度	下がる ←→ ほぼ同じ

●室内温度より屋外温度が低い場合、除湿効果が低くなります。

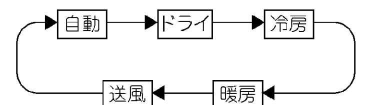
お知らせ

●「風量自動」に設定してから、自動（運転モードが冷房・ドライのいずれかのとき）・ドライ・冷房運転を開始すると、室内ユニットの中にこもったイヤなニオイを抑えてから風を送り出すニオイないス機能が働きます。



1 運転切換 を押し運転モードを選ぶ。

●押すごとに下記のように運転モードが切り換わります。



2 運転/停止 を押す。

本体の運転ランプ（緑）が点灯



■風向・風量を変えたいとき

▶12, 13ページ

●ドライ運転の場合は風量設定は「自動」になります。風量変更はできません。

温度を変える

運転中に ▲温度▼ を押す。

運転モード	温度設定
自　動	標準－5℃ ～ 標準（※1） ～ 標準＋5℃
ドライ	標準－2℃ ～ 標準（※2） ～ 標準＋2℃
冷　房	18℃～32℃　〈おすすめ温度〉26℃～28℃
暖　房	14℃～30℃　〈おすすめ温度〉20℃～22℃
送　風	温度は変えられません。

（※1）標準…室内、屋外温度から決定した温度
（※2）標準…ドライ運転開始時の室内温度

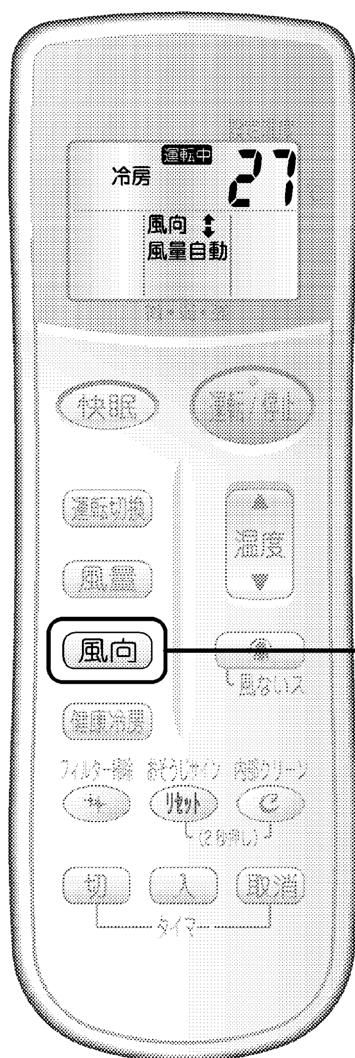
■停止したいとき

運転/停止 を押す。

●本体の運転ランプが消灯します。

風向調節

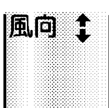
上手な風向調節でより快適な風を。



上下の風向を変える

運転中に

風向 を押す。



●風向表示が点灯します。

フラップ(上下風向調節羽根)が上下に自動で動きます。

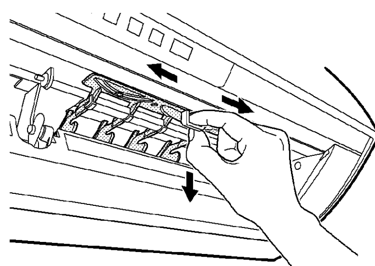
■風向を固定したいとき

再度

風向 を押す。

●風向表示が消灯します。

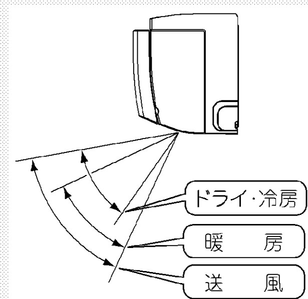
左右風向を変えたいとき



ルーバー(左右風向調節羽根)のツマミを持って、下に少しひきながら左右に動かす。
●左右1ヵ所ずつあります。

上下の風向調節について

●フラップ（上下風向調節羽根）の可動範囲は運転モードに応じて異なります。



お願い

上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。フラップ（上下風向調節羽根）を無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。

お知らせ

●室内温度が設定温度よりも高く(低く)なり、室外ユニットが停止している間は、フラップは停止します。フラップが上下に動いているときは、フラップが可動範囲の上限まで移動して停止します。

●ドライ・冷房運転時に下吹きでフラップを停止したまま運転されますと、露が付くのを防ぐために、約1時間後に自動的にフラップが動きます。

●左右風向を変えるときは、風向が上向きだと指が入らないことがあります。リモコンで上下風向を下向きに調節してから左右風向を変えてください。